

女性学専攻（課程レベル）アセスメント・ポリシー

2026年度生以降

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	女性学及びジェンダー研究に係わる専門的知識を習得し、活用することができる。
DP2	人文科学、社会科学の諸分野における女性学、ジェンダー論の視点や研究方法を理解し、女性学及びジェンダー研究において、国際的かつ学際的視野と高度な研究方法によって自ら設定した課題について探求することができる。
DP3	ジェンダー研究の成果をもって、ジェンダー平等社会の実現に向けて、国際社会における、性差別の実態を正確に把握し、その撤廃に取り組むことができる。
DP4	専門とする分野の必要に応じて、一つ以上の外国語によって、専門的な内容を話し、聞き、書き、読むことができるとともに、ジェンダー平等社会の実現を推進する視野と実行力を修得し、各職業領域において、多様な立場の人々が共に生きやすい社会の実現に貢献することができる。

2. アセスメント・ポリシー／アセスメント・プラン

#	アセスメント・ポリシー (アセスメント項目)	アセスメント・プラン (アセスメント方法)	対応するDP								責任主体	備考	
			DP1	DP2	DP3	DP4							
共通基礎アセスメント項目													
1	GPA	年間GPA分布と通算GPA分布を集計し、平均GPAと通算GPA2.0以上の学生の比率につきアセスメントを行う。	◎	○								研究科執行部	
2	成績評価	成績分布と単位修得率を集計し、アセスメントを行う。	◎	○								研究科執行部	
3	在学生調査	在学生意識調査の調査回答率と各設問の回答結果を集計し、成長実感等につきアセスメントを行い、退学率と休学率についても検証する。		○	◎	○						研究科執行部	
4	海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等	各海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等の参加者数と参加率を集計し、アセスメントを行う。			◎	○						研究科執行部	
6	学位授与	学位授与数と授与率を集計し、アセスメントを行う。	○	◎		○						研究科執行部	
7	修了後の進路	就職内定率と就職率、進学率を集計し、アセスメントを行う。			○	◎						研究科執行部	
8	修了時調査	修了時調査の調査回答率と各設問の回答結果を集計し、総合満足度と成長実感につきアセスメントを行う。			○	◎						研究科執行部	
論文作成過程アセスメント項目													
9	研究計画書	研究テーマ選定の適切さと、計画書の実行可能性、計画書の適切さについて主指導教員を中心に評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員がアセスメントを行う。
10	研究中間発表	研究テーマの独創性、研究方法の妥当性、他研究分野との関連性、研究方法の適切性、研究の実現可能性を主な指標として評価する。	◎	○								研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
11	論文作成計画発表	研究テーマが女性学・ジェンダー研究の視点に沿って展開されているか、先行研究の調査の度合いや研究目的に合致した研究方法を用いているか等を指標として評価する。	○	◎								研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
12	修士論文概要発表	「修士論文概要発表」の留意点等を主な指標として、修士論文として十分な内容が盛り込まれているかを教員全員で評価する。提出期日までに論文が完成されるかどうかについても評価の対象とする。	○	◎	○							研究科執行部	主指導教員と副指導教員がアセスメントを行う。
13	修士論文審査	修士論文は、「人文科学研究科大学院課程修了要件」記載の審査方法と審査基準に基づいて評価する。		◎	○	○						研究科執行部	主査と副査がアセスメントを行う。